広島大学病院ニュース

No.56 2020.10

ご自由にお持ち帰りください。

Hiroshima University Hospital News

国際医療支援部を設立

増える外国人患者へ対応強化

今後の方向性などを話し合う国医療支援部メンバー

安心・安全な医療サービスを提供

国際医療支援部スタッフ

光嶋勲国際リンパ浮腫治療センター長を囲む外国人患者

国際医療支援部　杉山英二部長ごあいさつ

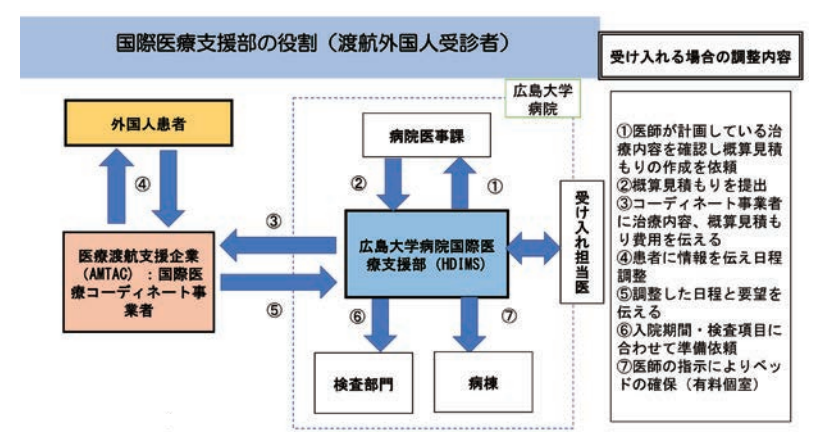
海外へ積極的な情報発信

近年、訪日外国人旅行者や在留外国人が増加し、これに伴い医療機関を受診する外国人患者も増加しています。広島市の統計によれば、令和2年3月現在で、在住する外国人は2万人を超え、外国人旅行者は178万人と増えています。広島大学病院においても、毎年、400人近い外国人が新患受け付けされており、今後とも増加が予想されます。そこで、外国人患者の医療サービスの充実と病院スタッフの負担軽減を図るために、令和2年5月に国際医療支援部が設置されました。スタッフは医師2名、看護師1名、事務職員1名から構成されています。具体的な取り組みとしては、院内文書や表示の多言語化、医療通訳体制の整備、日本の健康保険証を有さない患者への情報提供、収金対策などの体制整備を行っております。また、当院受診希望の外国人患者が安全かつスムーズに医療を受けていただけるように、院内の幅広い部門と連携して、対応しております。今後は日本での検診、専門性の高い治療を受けるために来日する渡航受診者に対して、海外への積極的な情報発信と診療体制の構築を行っていく所存です。

外国人患者が安全･安心な医療サービスを享受できるように、活動していきますので、今後ともご協力のほど、宜しくお願いいたします。

国際医療支援部の家護谷五月副部長（主任看護師長）に取り組みなどを紹介してもらいます

国立大学のグローバル化と医療の海外展開



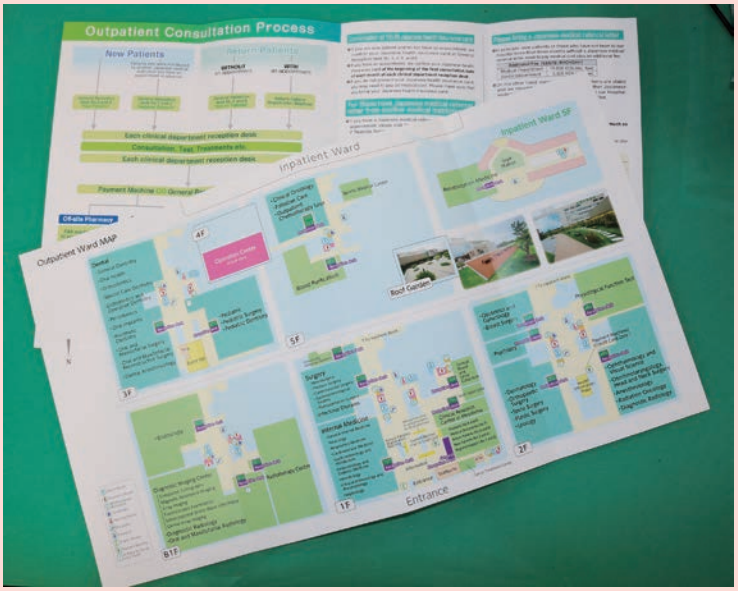
国立大学病院長会議の国際化プロジェクトチームは、インバウンドの環境整備、アウトバウンドの推進、エクスチェンジ（人材交流）という3つの活動を通じて、医療の国際化に取り組んでいます。広島大学病院も、さまざまな活動に取り組んできました。年々増加する訪日外国人や、技能実習生を含む在留外国人の受診受け入れはもとより、国際リンパ浮腫治療センターでの渡航受診者治療、てんかんセンターとJICAの協力による、ネパールの医師らに正しい診断･治療を可能にする教育･育成を目的とする事業や、海外の協定先大学からの医学生の留学受け入れなどです。

これらをベースに、本年度当院は、経済産業省が支援して医療国際展開を推進する中核機関Medical Excellence JAPAN（MEJ）の認証する「ジャパンインターナショナルホスピタルズ」への推奨を得る準備を進めています。評価基準は、国民への医療提供体制の維持と向上を前提として、渡航受診者を受け入れる組織的な取り組みがあることです。推奨された病院は、海外向けのWEBサイトにリスト掲載され情報発信が行われます。

認証を得るということは、広島大学病院が最先端の医療サービスを国内外へ提供できる体制を整えていることの証であるといえます。また、当院の構成員による外国人受け入れに対する意識が高まり、日々のサービス向上が期待できます。

本院の活動内容

国際医療支援部開設後、すでにさまざまな反響が届いています。業務として、当院の外国人受け入れ状況をまとめ、国籍やどの診療科が多く患者を受け入れているかを、関係各所へ報告し始めました。診療科からは、「外国人患者というカテゴリーで診療していたわけではないので、自身の診療場面でいかに外国人患者と接していたかよくわかった」「意外だった」などの意見がありました。



院内の案内や手続きについての英文パンフレット

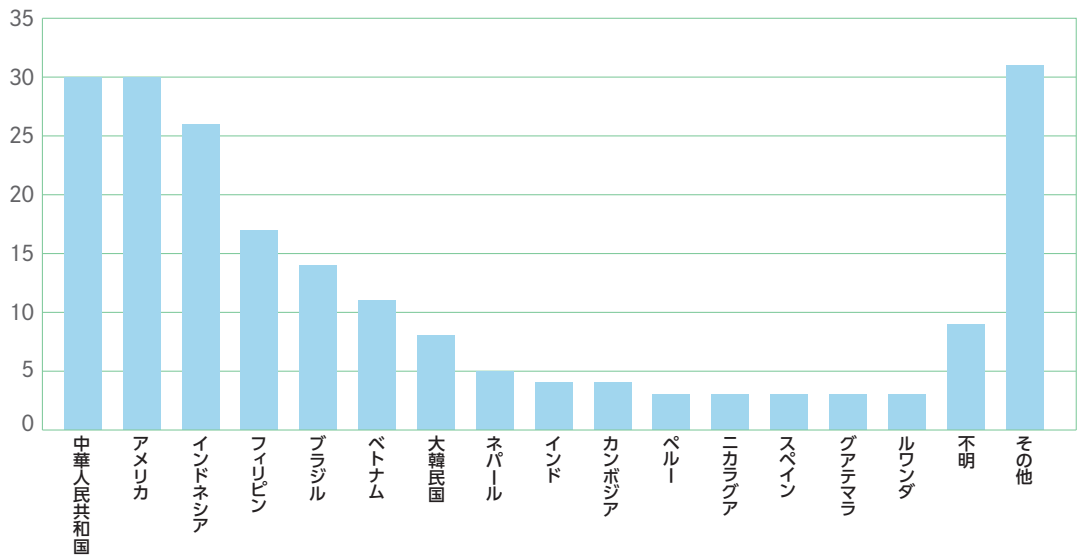
また、開業医などから紹介を受けた外国人患者の情報は、当院「地域連携」部門が事前に確認し、通訳が必要である場合は、国際医療支援部へ連絡があり、ボランティアの医療通訳の派遣など調整を行っています。12カ国語に対応できる医療専用の翻訳機も必要に応じて貸し出し、英語・中国語のパンフレットづくりにも取り組んでいます。

海外との連携では、海外の医師から、臨床研修受け入れの問い合わせや、患者からセカンドオピニオンの問い合わせが直接メールで送られてくるようになりました。現在は、個々への対応を行いながら、必要な体制を整える方向を目指しています。

国際医療支援部が目指すもの

開設初年度となる本年度は、医療現場（院内外）の課題を抽出し、支援体制を整えることが第一と考えています。患者目線、医療者目線での業務フローの確立、多言語化を含むサービスの向上、活用できる情報の提供、国内外の外国人患者のニーズと当院の可能な医療提供のマッチングなど、求められる役割は膨大です。国内だけでなく、海外への、「広島大学病院ここにあり」といわれるような情報発信とサービスの提供を目指して、活動の幅を広げていきたいと思います。

2020年度国籍別受診患者数（2020年5月～8月）



ニュースアップ

白鵬関の優勝額を診療棟地下に設置

大相撲横綱白鵬関の優勝額を広島大学病院診療棟地階のエスカレーターそばへ設置しました。本院とモンゴル国立がんセンターとの交流の縁から、同国出身の白鵬関から贈られました。高さ3.17メートル、幅2.28メートルと見上げる大きさです。白鵬関は「患者さんに優勝額を見ていただき、勇気をもって病気と闘ってほしい」との願いで、貴重な全勝の優勝額（平成25年3月場所）を選ばれました。優勝額は国技館に一時、飾られていたものです。

広島大学病院とモンゴル国立がんセンターの交流は2012年から本院放射線治療科（永田靖教授）で留学生の受け入れが始まり、広島県の放射線被曝者医療国際協力推進協議会（HICARE）が国際原子力機構（IAEA）と連携して国際貢献事業として人材交流、2018年3月には病院とセンターが国際交流協定を締結。その後も交流・協力を続けています。

交流協定の締結式にゲストとして出席した白鵬関からモンゴル支援への感謝の気持ちも込めて今回の寄贈が実現しました。設置場所はきっかけとなった放射線治療科のある診療棟地階です。

マスクなど医療物資や飲食物など多くのご支援をいただき、感謝いたします

新型コロナウイルスの感染拡大が続く中、広島大学病院に対し、マスク、防護服などの医療物資のほか、医師や看護師、職員らへ飲料や食品など大変多くのご支援をいただきました。

これらのご厚意に対し心より感謝申し上げます。

いただいた品々は、大切に使用させていただき、引き続き大学病院としての使命を果たしてまいります。

広島大学病院　木内良明

ご支援いただいたのは奉仕団体から企業、個人までさまざまです。公表を了承いただいたお名前は広島大学病院ホームページに掲載させていただいています。

栄養管理部
情　報

サツマイモの栄養

担当した管理栄養士

秋は「食欲の秋」と言われるように、おいしいお野菜・果物など旬の食材が豊富です。栄養たっぷりの食材をたくさん食べて、元気な体作りをしましょう。今回は、旬の食材の中からサツマイモの栄養についてご紹介します。

サツマイモに含まれる栄養

①便秘解消に役立つ「食物繊維」

水溶性食物繊維も、不溶性食物繊維も含まれており、便の量を増やす、腸内の善玉菌を増やすなど腸内環境を整えてくれるため、便秘予防の効果があります。

②抗酸化作用をもつ「ビタミンE」

体内の細胞の酸化による老化やLDLコレステロールの酸化による動脈硬化の予防などに役立ち、老化と関係する疾患を防ぐ効果が期待されています。

③美肌作りに欠かせない「ビタミンC」

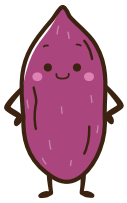
コラーゲンの合成の過程に必要な栄養なので、皮膚や粘膜の健康に欠かせない栄養素です。

※サツマイモには体に良い栄養素が多く含まれますが、糖質が多くたくさん食べるとエネルギーが過剰になるため、食べ過ぎには注意しましょう。

サツマイモを使ったおすすめのレシピ

鮭とサツマイモのミルク煮

エネルギー:398kcal　たんぱく質:22.2g　塩分:1.9g



〈材料〉　1人分

生鮭	1切れ(80g程度)
サツマイモ	60g
しめじ	25g
玉ねぎ	25g
牛乳	100cc
貝割れ大根	5g
塩・コショウ	少々
油	大さじ1
コンソメ	小さじ1
粉チーズ	大さじ1

〈作り方〉

①サツマイモはきれいに洗って水気を拭き、ラップにくるみレンジにかける(600w:5分)。粗熱が取れたらレンジから出して一口大に切る。

②しめじは石付きを取りほぐし、玉ねぎは薄めにスライスする。

③鮭は骨があれば取り、1切れを3～4等分に切り塩コショウで下味をつける。

④フライパンに油をひき、鮭を皮の方から焼き軽く焼き色を付ける。フライパンの空いているスペースに②を入れ炒め、しんなりしたらサツマイモ・牛乳・コンソメを入れ10分ほど弱火で煮る。

⑤④に粉チーズを入れ軽くかき混ぜ溶かして味を馴染ませます。器に盛り付け、貝割れを飾り出来上がりです。

病院で働く人にズームイン!

FILE 10 言語聴覚士

市本 将也（30歳）

今のお仕事を教えてください

脳卒中等の疾患を起因とした失語症や構音障害などでコミュニケーションが難しくなった方や摂食嚥下障害により食事をとることが困難になった患者さんに対して評価・訓練を行っています。理学療法士・作業療法士と同じように訓練メニューを考えて、機能回復を目指したり、残った機能を生かして生活がしやすい環境を整えたりします。外来では小児の構音障害や吃音、人工内耳のプログラムの調整なども担当しています。

言語聴覚士を目指したきっかけは

高校から進学するにあたり、もともと興味があった医療関係の仕事を調べていて見つけました。あまり聞き慣れない職業でしたが、リハビリ関係の中でも一番興味がわきました。自分や家族が失ってほしくないと思う機能であり、その維持や回復にかかわれるということで挑戦しました。

心がけているのはどんなところですか

0歳から100歳まで、年齢や置かれている状況も違う方への対応。患者さんがもし自分の家族だったら何をしてほしいかを考えて行動するようにしています。さまざまな困難を抱えている患者さんに寄り添えるよう心掛けています。失語症を含む高次脳機能障害は目に見えにくい症状でもあり、苦手な面と得意な面を家族などに理解してもらうことが大切だと感じています。

今後の抱負は

ニーズが増え、言語聴覚士の人数も増えてきているので、チームとしてさらに幅広い患者さんへ対応できるようになればと考えています。急性期では摂食嚥下障害のある患者も多く、そこでも何か手助けになれば。医師や看護師との信頼関係を築き、頼まれてうまくいくケースを増やしていけるよう、体制を整えていきたいと思っています。

催しのご案内 （2020年10月～12月）

※新型コロナウイルス感染症の感染状況などで、変更となる可能性があります。

ALL HIROSHIMA SPORTS SUMMIT
～アスリートの身体を守る防衛体力～

広島大学病院スポーツ医科学センターは、広島大学スポーツ科学センターとの共催で、「ALL HIROSHIMA SPORTS SUMMIT～アスリートの身体を守る防衛体力～」を開催します。アスリートが大会本番での結果を残すため、ハードなトレーニングができるよう、スポーツ外傷・障害だけでなく内科的な疾患からも自己の身体を防衛するための方策について、アスリート・コーチ・栄養士・医師などさまざまな視点からの意見を伺います。詳細は病院ホームページをご覧ください。

日　時：2020年11月8日(日)
13:00～16:50(12:30開場)
会　場：広島大学霞キャンパス
広仁会館大会議室
参加費：無料(要参加申し込み)
対象者：会場定員60名(ライブ配信300名)

【お問い合わせ先】
広島大学病院スポーツ医科学センター
(担当:林・大林)
082-257-5566 (9:00～13:00)
E-mail:sportsmed@hiroshima-u.ac.jp

がん治療を支える 患者サロン

がんゲノム情報にもとづく治療の選択

11月19日(木) 14:00～15:00
会場：3F4会議室およびZOOMオンライン
(会場は10名限定)
講師：がん治療センター　医師　岡本 渉

要申し込み
申し込み方法等の詳細は病院ホームページもしくは院内掲示のポスターをご確認ください。

がん相談支援センター 082−257−1525

ご意見やご感想は下記へお願いします。
広島大学病院　総務グループ　〒734-8551 広島市南区霞一丁目2番3号 082−257−5418

20103